



# 製品安全データシート

会社名: コダック株式会社  
担当部門: コンシューマー & プロフェッショナルイメージング事業部  
所在地: 東京都中央区新川2 - 27 - 1 (〒104-0033)  
電話番号: 03(5540)9000 FAX: 03(5540)2253

緊急連絡先: (財)日本中毒情報センター【中毒 110 番】  
(事故に伴い急性中毒の恐れのある場合に限る)  
9時から17時まで: 0990(52)9899 (ダイヤル Q2 有料)  
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 0298(51)9999  
これ以外の時間帯: 0990(50)2499 (ダイヤル Q2 有料)  
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 06(6878)1232

MSDS No.000015443/F/USA/JP

承認日: 2003年1月31日

作成日: 2003年12月1日

## 1 製品名

コダック プロフェッショナル プレブリーチ, シングルユースケミストリーキット, プロセス E-6

CAT No.107 7643 5リットル用キット

## 2 危険・有害性の分類

[濃縮液] : 危険: 1-チオグリセロールを含有。甲状腺に障害を起こす可能性がある。薬理的作用あり。皮膚にアレルギー反応を起こすことがある。酸と接触すると有害ガスが発生する。塩基と接触すると有害ガスが発生する。

## 3 物質の特定

### 混合物

(濃縮液)

成分名称	重量%	CAS No.	PRTR 政令番号
水	80-85	007732-18-5	
安定化剤	10-15	商標	
亜硫酸カリウム	1-5	010117-38-1	
1-チオグリセロール	1-5	000096-27-5	
メタノール	2	000067-56-1	
エチレンジアミン四酢酸 (EDTA)	1.4	000060-00-4	第1種47号

(使用液)

成分名称	重量%	CAS No.	PRTR 政令番号
水	90-95	007732-18-5	
安定化剤	5-10	商標	
亜硫酸カリウム	1-5	010117-38-1	
1-チオグリセロール	<1	000096-27-5	
メタノール	<1	000067-56-1	
エチレンジアミン四酢酸 (EDTA)	<1	000060-00-4	第1種47号

4	応急措置
吸入した場合	: 症状が出たら、空気の新鮮な場所へ移動する。症状が続くならば、医療手当てを受ける。
眼に入った場合	: 眼に入った物質を直ちに水で洗い流す。症状が出たら、医療手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	: (濃縮液)直ちに、付着した衣類、靴などを脱ぎ、多量の水とセッケンで洗い、医療手当てを受ける。汚染した衣類、靴は良く洗って使用するか、廃棄する。 (使用液)水とセッケンで洗い、症状が出たら、医療手当てを受ける。
誤飲した場合	: コップ 1~2 杯の水を飲み、胃内で薄めた後、医療手当てを受ける。
5	火災時の措置
消火手段	: (濃縮液)水スプレー、二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )、粉末消火剤 (使用液)周辺の火災に対し、適切な薬剤を使用する。
火災時の特別対応手段	: 保護衣と呼吸用保護具を着用する。火災や過度の熱により、危険な分解物質を生じることがある。
有害燃焼物質	: 硫黄酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素
異常火災 / 爆発の危険性	: なし
6	漏出時の措置
多量の水で洗い流すか、不活性物質に吸収させ化学物質廃棄用の容器に回収する。漏洩箇所を十分に拭きとる。	
7	取扱い及び保管上の注意
取扱い	: (濃縮液)眼、皮膚、衣類に付着させない。適度な換気をする。取扱い後は、十分に手などを洗う。 (使用液)適度な換気をする。取扱い後は、十分に手などを洗う。
火災や爆発の防止	: (濃縮液)酸化物質に接触させない。 (使用液)通常使用では、特に必要なし。
保管	: 密栓して保管する。不適合物質から離して保管する。
8	暴露防止措置
強酸と接触すると、安定化剤からホルムアルデヒドおよび二酸化硫黄が発生する。また、強塩基と接触するとホルムアルデヒドが発生する。必要ならば、規制区域、呼吸器系保護プログラム、清掃、医学的監視、記録、従業員情報、訓練制度を確立するように規定されている。	
許容濃度	: ACGIH(TLV) メタノール:200ppm TWA、250ppm STEL、皮膚 OSHA(USA)(PEL) メタノール:200ppm TWA、250ppm STEL、皮膚
換気	: 換気の良い所で取扱う(10 air changes / 時間)。換気率は使用条件に適合しなければならない。特殊な環境では、補足的な局所換気、閉鎖システム、呼吸用保護具などが必要となることもある。
呼吸器の保護	: 必要なし。ホルムアルデヒドが、呼吸器系の保護を必要とする濃度で放出した場合には、ホルムアルデヒドに対する保護用として顔全体を被うフェイスピース、フードまたはヘルメット付きの保護用呼吸器を着用すること。
眼の保護	: (濃縮液)側板付き眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡の着用。

- (使用液) 眼への付着を最小限にする。側板付き眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡を着用する。
- 皮膚の保護 : (濃縮液) 不浸透性の手袋を着用する。  
(使用液) 皮膚への付着を最小限にする。長時間、あるいは繰り返し皮膚に付着するような操作では、不浸透性の手袋を着用する。
- 浄化する設備 : 洗眼、身体洗浄の設備(シャワー)を推奨する。

9 物理・化学特性

	(濃縮液)	(使用液)
外観	液体	液体
色	無色	無色
臭気	無臭	無臭
沸点	> 100°C	> 100°C
蒸気圧	24mbar (18mmHg) / 20°C	24mbar (18mmHg) / 20°C
蒸気密度(空気 = 1)	0.6	0.6
揮発留分(重量)	70-75%	90-95%
比重(水 = 1)	1.22	1.04-1.05
pH	6.1	6.2-6.8
水溶性	完全	完全
引火点	なし	なし(不燃性液体)

10 危険性情報(安定性・反応性)

- 安定性 : 安定
- 不適合物質 : 強酸化剤、強酸、強塩基
- 危険分解物質 : ホルムアルデヒド
- 危険重合物質 : 知見なし

11 有害性情報(暴露の影響)

- 吸入 : 通常取扱いでは、危険性は少ない。
- 眼 : 知見なし。一過性の炎症を起こすことがある。
- 皮膚 : (濃縮液) 皮膚にアレルギー反応を起こすことがある。  
(使用液) 通常取扱いでは、危険性は少ない。
- 誤飲 : 危険性は少ないと予想される。

12 環境影響情報

(この項は、輸送中の不慮の事故などにより発生した漏出時の対応について述べるもので、下水道などに排出するための情報ではありません。)

本品の主成分に関するデータは、自然環境へ及ぼす影響を予測するためのものです。以下の特性は予測に基づいたものです。

予測される有害性:

魚 LC50:	>100mg/L
ミジンコ EC50:	>100mg/L
海藻 IC50:	>100mg/L
生分解性有機物:	あり(14日)
蓄積性:	Log Pow<1
COD(概算):	85g/L
BOD(概算):	29g/L

---

**13 廃棄時の注意**

---

特別管理産業廃棄物に該当しない。

自社で廃水処理設備を所有していない場合には、全量を回収した上で専門の廃液処理業者に委託して処理する。

廃棄時に該当する法規

廃棄物処理法(廃酸)

水質汚濁防止法 : 生活項目

下水道法 : 下水の排除の制限

---

**14 輸送上の注意**

---

Air Transportation

Class :

国連番号(UN Number) : UN 1788, UN 1814, UN 3265

Proper shipping name : SEE MANUAL INSTRUCTIONS.

Subsidiary risk :

Packing group :

Passenger aircraft :

Cargo aircraft only :

Further information : Can go by air but needs additional work before going by air.

---

**15 適用法令**

---

化学物質管理促進法(PRTR法) : エチレンジアミン四酢酸(EDTA)

毒物劇物取締法 :

労働安全衛生法 :

消防法危険物分類 :

---

**16 その他**

---

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、上記の内容は補足の情報と見なし、取り扱いには十分注意してください。